

Tohoku Gakuin Alumni Association

LUX MUNDI

東北学院同窓会報 [ルクス・ムンディ～世の光～]

Vol.20 2016.9



2016年 東北学院は
創立130周年を迎えました



通信

Life Light Love

18万人が繋ぐ、TGコミュニケーション



第3回 TG交流ゴルフ 大会のご案内

東北学院同窓会主催

東北学院同窓会では、一昨年より仙台同窓会の事業でありましたTG交流ゴルフ大会を引き継ぎまして、東北学院同窓会主催事業として行っております。

つきましては「東北学院同窓会主催第3回TG交流ゴルフ大会」を下記の通り開催いたしますのでご案内申し上げます。

日時

平成28年10月4日(火)

会場

仙台カントリー倶楽部・
名取コース

(名取市愛島笠島字南北沢1-8 TEL:022-383-3636)

※詳細はホームページをご覧ください。



LUX MUNDI

Tohoku Gakuin Alumni Association

東北学院同窓会報

[ルクス・ムンディ～世の光～]

Vol.20 2016.9

表題 ～Lux Mundi(世の光)～

「Lux Mundi(ルクス・ムンディ)」は、ラテン語で「世の光」を意味します。「世の光 わがほこり」と校歌にも出てきますので、東北学院で学んだ方々には馴染み深いものがあると思います。「ルクス・ムンディ(世の光)」は、いうまでもなく東北学院の真の創設者イエス・キリストのことです。そのキリストの光に導かれて、それぞれの人生を歩んでいただきたいとの願いが込められています。



表紙

ホーイ記念館

東北学院創立130周年を記念して、三校祖の一人、ホーイ先生の名前を冠し、土樋キャンパス正門向かいに建設しました。地上5階・地下1階建てで、1階にカフェと学生が主体的に学べるスペースを備えた建物です。

01 TG交流ゴルフ大会 開催の案内

02 特集 北から南から 東北の信用金庫を結んで

盛岡信用金庫 理事長／東北地区信用金庫協会会長／
岩手県信用金庫協会会長 佐藤 利久

福島信用金庫 理事長／東北地区信用金庫協会副会長／
福島県信用金庫協会会長 樋口 郁雄

06 躍動する同窓生 ～世代を超えたTGの輪～

今田早百合行政書士事務所 行政書士 今田 早百合

株式会社ヤマト屋書店 代表取締役 阿部 博昭

アナウンサー・朗読家 渡辺 祥子

絵画工房 ランズエンド 画家・イラストレーター 古山 拓

13 TGギャラリー

14 懐かしい風 新しい出会い～同窓生のお店を訪ねて～

株式会社八柳 専務取締役 八柳 浩太郎

旨味処 二升五合 店主 桜井 義久

株式会社矢部園茶舗 代表取締役社長 兼 営業本部長 矢部 亨

20 代議員会報告 / 収支決算書

巻末 校友課より



「共存同栄」の精神で、地域の皆様に役立つ信用金庫に。



盛岡信用金庫 理事長
東北地区信用金庫協会会長
岩手県信用金庫協会会長

佐藤 利久

(さとう・としひさ)
昭和45年経済学部商学科卒

信用金庫ならではの絆

盛岡信用金庫は明治36年、協同組織金融機関として、お互いに助け合い、発展していくという「共存同栄」の精神のもと、「地域社会の発展と、ゆたかな暮らしづくりをめざして」を基本理念に、地域に根ざした活動を行っている。

「現在、地方におきましては人口減少、少子高齢化など、さまざまな課題があります。それは盛岡も例外ではありません。そこで、私たちは地域経済の活性化を目的に、創業支援や販路の確保・拡大に向けたビジネスマッチング、観光誘致活動やマネースクールの開講など、さまざまな活動を行ってまいりました。信用金庫は銀行とは異なり、営業エリアが限定されており、地域経済が活性化しないと、私たち自身も生き残ることができません。ですから、まさに『共存同栄』の精神が大切ですし、これからも地域とともに歩んでまいりたいと思っています」と話すのは、理事長の佐藤利久さん。この日、佐藤さんは、年金の受け取り口座を同信用金庫に指定しているお客様でつくる方々との旅行で、群馬県から盛岡に戻ったばかりだった。

「年に一度の旅行は、お客様と『顔の見えるおつき合い』を実践する大切な機会であり、日ごろより、私どもを支えてくださることへの感謝の気持ちを示す機会でもあります。また、私たち信用金庫は、横のつながりや連携が非常に強く、行く先々で当地の信用金庫の方々が私たちを歓迎してくれるのです。このような小さなおもてなしの活動も、地域の観光誘致活動につながるのではないかと考えています」と佐藤さん。東北地区信用金庫協会の会長としても、東北の活性化のために、金庫同士の連携を強化しようと意気込んでいる。

刺激を受けた大学時代

現在、さまざまな役職を担い、多忙な日々を送る佐藤さんだが、大学生のころはどんな青年だったのだろうか。

「大学紛争が大変なときだったので、3年生の後



半からだったと思いますが、大学には行くことができなくなっていました。それはそれで大変だったのですが、なるべく時給の良いアルバイトをしようと、肉休労働のような仕事を引き受けて大変な目に遭ったり、アパートの同じ階に住んでいた留学生と交流したり。また、仕送りを一切もらわずに、自分でお



花崗岩の壁面や石彫のアクセントが美しい盛岡信用金庫本店は、昭和2年に旧盛岡貯蓄銀行が銀行店舗として建てた貴重な建物。昭和52年12月20日、盛岡市より保存建造物に指定されている。

今年、東北地区信用金庫協会の副会長に就任した福島信用金庫理事長の樋口郁雄さんは、東北学院大学の後輩に当たる。

「これまでも、会議などでお会いする機会が多かったのですが、今回、樋口さんが東北地区の副会長を務めてくださることになりましたので、これまで以上に連携を深めていきたいと思っています」と佐藤さん。東北の北と南で活躍する同窓生が、信用金庫を結ぶ絆を、より強固にするはずだ。

信用金庫の力を合わせ、さまざまな課題を乗り越えていきます。

信用金庫の連携を深めて

福島信用金庫は、福陽信用金庫と伊達中央信用金庫が昭和51年5月1日に合併して発足。福島市に本店を構え、今年、40周年を迎えた。樋口郁雄さんは、平成24年6月から理事長を務めている。

「前理事長からバトンを受け取った時期は、経済が低迷していましたし、東日本大震災の原発事故から1年3カ月しか経過していませんでしたので、先が見えない厳しい状況でした。その後、アベノミクスで業績をもち直しましたが、今年1月には日銀がマイナス金利政策を打ち出し、波乱の幕開けとなりました。私は42年間、この業界におりますが、マイナス金利というものを経験したことがありませんので、これをどう乗り越え、克服していくかということが課題であると思っています」と樋口さん。金融機関にとって厳しい状況が続く中、福島県内の8金庫でつくる福島県信用金庫協会の会長として、また東北信用金庫協会の副会長として、信用金庫同士の連携を深め、この難局を乗り越えようと奮闘している。

この町と共に歩む

「私が大学1年生のときだったと思います。大学紛争が激化し、年明けから学校封鎖が行われたのです。その後は、いつからか通常の授業に戻ったのです。この出来事は大変印象深く、記憶に残っています。またアルバイトを通して、社会勉強もずいぶんしました」と樋口さん。樋口さんは同窓会福島県北支部の会長も務めており、同金庫だけでも東北学院の同窓生は28人と多く、総会には100人ほどが集まるといっ。

同金庫では今年、合併40周年を記念して、金庫

福島信用金庫 理事長
東北地区信用金庫協会副会長
福島県信用金庫協会会長

樋口 郁雄

(ひぐち・いくお)

昭和49年経済学部経済学科卒
東北学院同窓会 福島県北支部 支部長

歌をつくり、CDも作成した。それを職員全員に配布。福島信用金庫の歴史や特性、理念を歌から学び、再認識してもらおうのが狙いだ。

「歌詞は職員から募集し、作曲はシンガーソングライターの中島みゆきさんの編曲も手がける方と知り合いになりました。つくっていただきました。手前味噌ですが、とても良い曲ができたと思います。これか



らも、地域の皆さんに愛され、お役に立てる信用金庫であることを目指し、復興再生についても全力を尽くしていきたいと思っています。またこの春、東北地区信用金庫協会の会長に就任された佐藤利久さんの補佐を、しっかりと務めてまいります」と樋口さんは、金庫歌の歌詞に込めた思いと同じ情熱をもって、力強く抱負を語る。



福島信用金庫歌

作詞：福島信用金庫職員 作曲：西崎進

- 1 この町で生まれ この町と共に歩む
いつも笑顔を絶やさず
感謝の気持ちを忘れず 吾妻の峰に広がる暮らし
あふれる光と希望 つなぎ合う心で 夢を育む
ふくしん ふくしん 福島信用金庫
- 2 今日の出会いが 明日(あした)に重なりあつて
そして未来を創ろう
私の皆の手と手で 桃源郷に花は開いて
きらめく生命(いのち)のいぶき つなぎ合う想いは
愛のふるさと
ふくしん ふくしん 福島信用金庫
- 3 弛(たゆ)まず進もう 豊かな大地の元に
理念の翼をひろげて
輝く世界を謳(うた)おう 阿武隈川の清き流れは
大きなめぐみと力 つなぎ合う絆は
強く限りなく
ふくしん ふくしん 福島信用金庫

世代を超えたTGの輪

躍動する同窓生

PROGRESS

さまざまな分野で活躍する東北学院の同窓生たち。今回は行政書士をはじめ、会社経営者やフリーアナウンサー、イラストレーターとして実績を築いてこられた方々に、お仕事について、また学生時代の思い出などを伺いました。



今田早百合行政書士事務所
行政書士

今田 早百合

(こなた・さゆり)

昭和51年法学部法律学科卒
東北学院同窓会常任委員、東北学院同窓会山形支部役員

難しい仕事こそ、
お引き受けする。
それが私たちの
信条です。

仕事は企業との二人三脚

大型のトレーラーなどの大型特殊車両は、購入時には保安基準緩和認定、道路を走る際にも通行許可証が必要になる。今田さんは、こうした特殊車両の運用に強みを発揮している行政書士だ。

「行政書士としての最初の仕事で、貨物運送業の当時は免許をいただくというものでした。わかりやすい言葉で言うと面倒くさいものだったようなのですが、当時、私は事務所を開いたばかりで、とても暇だったので、私（笑）。じっくり取りかかることができましたので、嫌な仕事だとは思いませんでした。その後、そのお客様がトレーラーを購入することになり、通行許可証申請のサポートをさせていただいたんです。それから同様の仕事をいただくことが増えまして、いまは9割が運輸関係の仕事なんです」と今田さん。以来、企業とは丁寧に話し合いを重ね、現状や将来の目標などを明確にして、企業と二人三脚で進めることを大切にしてきた。

「お客様の事業が順調に発展するためにという思いで、ときには耳の痛いことも申し上げることにしています。お互いに腹を割って話すことで、信頼し合い、長いお付き合いができるのではないかと。そう思っています」。

今田さんが行政書士を目指すきっかけは、恩師である鈴木ハツヨ先生の紹介で就職した弁護士事務所にあった。

「夫婦とも弁護士だったのですが、その姿を拝見して『資格を取って働く女性ってかっこいいな』と思い、働きながら資格を取得しました」と、さらりと話す今田さんだが、わずか2週間の勉強で見事、合格したというのだから、その集中力の高さには驚かされる。その後、昭和61年の2月に事務所を開設、今年で30周年を迎えた。



活気あふれる同窓会に

「6、7年前、同窓会山形支部の幹事を仰せつかりまして、毎年同窓会の総会を開催しています。毎回、100人以上の参加があるんですよ。これは東北学院生みんなに言えることだと思っておりますが、幹部や顧問になられた先輩方も人柄が良い方ばかりで、本当に楽しいんです。これからの楽しさをわかち合えるような、活気のある同窓会にしていこうと思います」と、役員としての意欲をにじませる。

そんな今田さんは、文楽鑑賞から日本舞踊、囲碁、ガーデニングまで幅広い分野に興味を持つ趣味人でもある。大学時代は、お琴と三味線、民謡のサークル「邦楽部」に所属していた。

「いま『和』に興味があるのですが、これも大学時代、邦楽部に入ったことがきっかけなのかもしれません。東北学院大学は、私にたくさんの人やモノ、コトと出会わせてくれた場所だったと思います」。

「競争しない」ポジションで

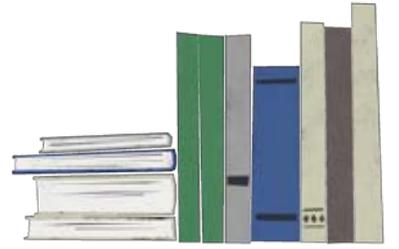
「同業他社と同じことをしているのは競争になります。他の人たちがあまりやらないが難しい仕事をお引き受けするという方針でやってまいりました。これからも、その方針は変えずに、現在、行政書士試験に挑戦中の若い職員に活躍してもらおうべく、私は第一線から少しだけ離れた位置にいます。実は東京から山形に戻ってきてくれた次男が、若手職員の一人なんです。職員たちが資格を取得した暁には、法人格を取得する。それが当面の目標です」と今田さん。忙しい日々は当然、続きそう。



世代を超えたT.Gの輪

躍動する同窓生

PROGRESS



仙台三越店店頭風景

本を中心として、
楽しめる空間を
提供していきたい。

株式会社ヤマト屋書店
代表取締役

阿部 博昭

(あべ・ひろあき)

昭和47年経済学部商学科卒



窓に勾当台公園の緑が映える仙台北社社長室にて

再認識した「本」の価値

仙台市の市街地、「杜の都・仙台」を象徴するような緑多き定禅寺通り。その一画に立つビルに、ヤマト屋書店仙台北社はある。今年3月1日、総務部を石巻から移転し、2年前に取得していたハーブ・ビル5階に仙台北社を開設した。現在、仙台三越店、仙台八幡店、東仙台店、石巻中里店、石巻あけぼの店の5店舗を展開している。仙台三越店以外はCD・DVDレンタルのTSUTAYAをフランチャイズ契約により併設。また、ドトールコーヒーやスターバックスコーヒーを併設、直営する店舗もある。

「昭和16年の創業当時は、文具や雑貨などを扱う店でしたが、戦後、教養や文化に飢えていた時代に、まちの人たちに本に親んでもらおうと、活字が好きだった父が本を置くようになったんです」と阿部さん。今日のような多店舗展開に着手したのは昭和56年。当時、人気を集めていたCDなどのレンタル事業に注目して事業に付加したり、アメリカで火がついたブック&カフェのスタイルを自社で展開する道を模索、研究した末に東北ではじめて実現したりと、新しい試みにチャレンジし続けている。

「私は先駆けることが好きなんです(笑)。そして、いまも新しいことにチャレンジし続けるのは、書籍を中心に、親・子・孫と幅広い世代と一緒に楽しんだり、ワクワクしたり、リラクゼーションたりできる空間を提供したいという思いがあるからなんです。東日本大震災を経験して、その思いはより一層強くなりました」。

阿部さんが従業員たちと力を合わせ、津波の被害を受けなかった石巻市のあけぼの店を再開したのは、地震発生からわずか20日後のことだった。ライフラインも復旧せず、スーパーには食品を求めて

長い列ができていたころ、命に関わるものではない『本』が必要とされているのだろうか。そんな不安を胸に営業を再開すると、押し寄せるように大勢の人たちが来店した。

「何と表現して良いかわからないくらいうれしかったです。日々の暮らしが大変なときでも、こんなにたくさんの方が本を必要としてくださる。あのときの感動は特別なものでしたし、本屋をやってきて良かったと心底思いました」。

青年は荒野をめざす

平成24年に、仙台市地下鉄勾当台公園駅に直結する仙台三越店をオープンして以来、大学時代の同級生たちと再会する機会が増えたと話す阿部さんに、大学時代について伺った。

「当時はフォーク全盛時代で、バンドを組んで活動していました。卒業後は音楽からは遠ざかっていたのですが、今年からエレキギターを習いはじめたんです。ベンチャーズの『パイプライン』をマスターしたので、秋の社員総会の余興として披露してみようと思ってるんです」と、愉快そうに話す阿部さんに、東北学院の同窓生や在校生たちにお勧めの一冊を教えてください。

「五木寛之の『青年は荒野をめざす』でしょうか。私も小説の主人公よろしく、大学を卒業してすぐ、横浜から船でナホトカに渡り、シベリア鉄道でモスクワまで行き、ヨーロッパを1カ月ほど放浪した経験があります。若い人たちには特に、冒険心と世界への目を開く気持ちを養ってもらえる本だと思います」と阿部さん。もち前の旺盛な好奇心を行動へと転換させるのに、本の力が関わってきたことは間違いなさそうだ。



言の葉で広がる、つながる

「投げかける言葉が、ラジオの場合はどうしても一過性のものになってしまう。ですから、それとは別に、定着する媒体がほしいと思い、まず自分で通信をつくりましてね。自分でコピーして知り合いなどに配ったのが、現在、携帯メールマガジンとして配信している『言の葉だより』なんです。さらに活字だけでなく、直接、語りかけをしたいと思い、朗読の舞台公演もはじめました。書くことは、いつも七転八倒しながら何とかやっているという感じですし、朗読もオリジナルの構成を考えるのは、大変だなと思います。でも、自分で『これがやりたい』と思っはじめてからは、いろいろな方の理解や協力をいただきながら幅が広がっていますし、大学1年生のあの日、発声練習をしているときに感じた、『がんばれば、ものになるかも』と思った、あの感覚と同じものをいまも感じるんです。だから、やめられないんです(笑)」。朗読会の評判が広まり、豪華客船「飛鳥II」の世界一周クルーズの船上で、『源氏物語』を朗読するという大役を任せられたり、最近では日系移民が多く居住する南米ボリビアを訪問し、日本の文学作品を朗読するなど、ワールドワイドに活躍する渡辺さん。

「これからも声を使って、あるいは文章を書いて、言葉を通して人と人、心と心をつないでいこうなことをしていきたいですね」。その声、その文章は、いま国境を軽々と超えて、世界に広がりはじめている。



自由を支えた「安心感」

「東北学院に入っていなかったら、私はアナウンサーになっていなかったと思うんです」と、包容力のある美しい声で話すのは、アナウンサーであり、朗読家の渡辺祥子さん。

「大学に入学して、最初に勧誘してくれたのが放送会だったんです。先輩方からいろいろな話を聞くうちに、アナウンス部にとっても惹かれて、入ることに決めました。あとから考えてみれば、私の大きな勘違いだったのですが、はじめての発声練習のときに、『私、がんばったものになるかも!』…そんな感覚を味わったんです。中学は剣道部、高校は陸上部で、アナウンスとは無縁だったのに、そう思うなんておかしいですよ(笑)」と渡辺さんは当時を振り返る。

渡辺さんは、大学在学中からラジオの生放送を担当していたことで、毎回、少しでも遅れて出席したゼミがあった。

「新聞学というゼミでした。担当の五十嵐之雄先生は、経験することが大切だからと、むしろこのアルバイトを喜んでくださり、理解し、応援してくださいました。東北学院の良さは、一人ひとりの考えを尊重してくれて、学生をいつも見守ってくれるところだと思います。私たちは“守られている”という安心感の中で、伸び伸びと、自由に4年という月日を謳歌できたのだと思います」。

大学卒業後はラジオのパーソナリティやCMのナレーター、司会などを手がけ、平成10年からは、古典からオリジナル作品までを題材とする朗読家としても活動。また講演や執筆活動を通して、言葉の力を届けるなど、活躍の場を広げてきた。さらに東日本大震災後は、これらの活動の中に被災地で懸命に生きる人々の姿を伝え、心に響く逸話などを取り入れて、被災地と支援者を結ぶ活動も行っている。

アナウンサー・朗読家

渡辺 祥子

(わたなべ・しょうこ)

昭和63年経済学部商学科卒

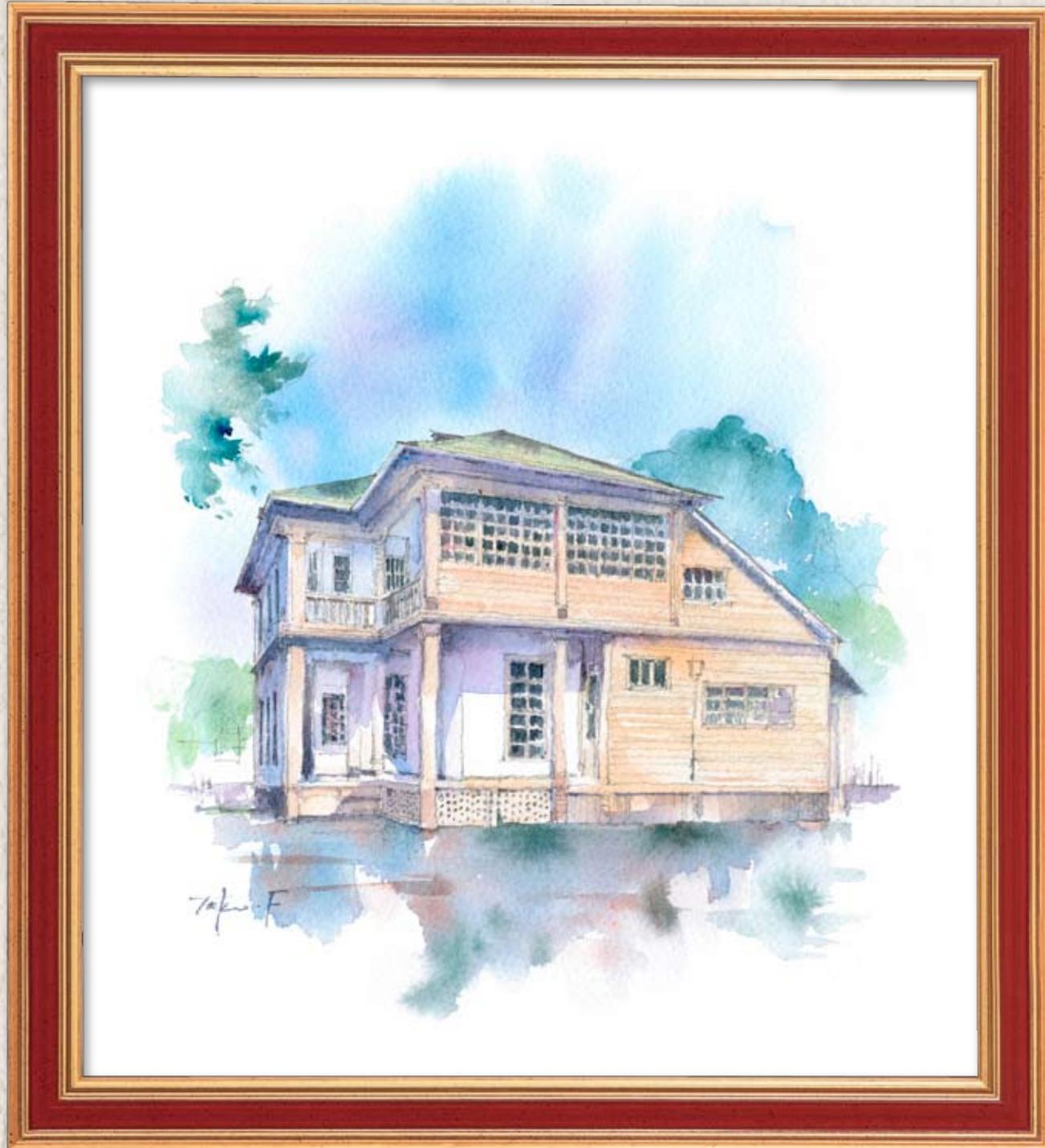
【ホームページ】 <http://www.ne.jp/asahi/voice/shoko/index.html>



この声を使い、
文章を紡いで、
心と心をつなぎたい。



東北学院を描くとき、
風景の中に入り込んで
描いています。



TG Gallery
東北学院旧宣教師館(デフォレスト館)・土樋キャンパス
Taku Furuyama

昭和37年岩手県に生まれる。アニメーター、印刷会社、デザインプロダクション勤務を経て、平成6年、フリーイラストレーターとして独立。東北、東京等各地で風景水彩画の個展を開催。個展発表と広告美術の二本の柱で活動中。日仏現代美術博「ARTEC 造形美術賞」受賞。パリで開催された国交省イベント「ようこそ東北へ」では、東北風景紹介作家としてメイン展示。洋画家 故・杉浦朝雄氏に師事。●東北イラストレーターズクラブ会員 ●(社)宮城県芸術協会会員



絵画工房 ランズエンド 画家・イラストレーター

古山 拓 (ふるやま・たく)

昭和61年文学部史学科卒



atelier **ARTIO**
アトリエ アルティオ

〒980-0822

宮城県仙台市青葉区立町19-20 パークサイドコーポ1階

TEL.022(797)8389

【営業時間】AM11:00~PM6:00

【休業日】日曜・月曜・祝日(その他催事等による臨時休業あり)

【ホームページ】artio.shop-pro.jp



本誌の創刊号から『TGギャラリー』を担当する古山拓さんが、昨年1月に自身のギャラリーを構えた。名前は「アトリエ アルティオ」。古山さんが愛してやまないケルト文化が残る地方の古語で「クマの女神」の意。ギャラリーに古山さんを訪ねると、奥様の久美子さんとともに迎えてくれた。久美子さんも東北学院大学の同窓生だ。

「TGギャラリーの絵を描くとき、その風景の中に私自身が入り込んで、あるときは勉強したり、またあるときはキャンパスを闊歩したりして、そこから見えてくるもの、感じるものを描いているんです。だから若返った気分になるんですよ」。そう話す古山さんの温かな表情に、お人柄の良さがにじみ出る。

「大学では古代ギリシャ・ローマを専攻していましたが、年齢を重ねるごとに、ローマが領土を拡大していったその先にあるケルト文化圏に興味をもつようになりました。大学での学びがいまにつながっていることを実感します」と語る古山さんには、かなえない夢がある。

「ケルト文化が残るスコットランドやブルターニュと東北は、歴史や文化、気候が似ているんです。ですから、いつかこの二つの地域を何らかの形で結びつける。それが夢です。東北学院の三校祖の一人、押川方義先生が語った『東北をして日本に於けるスコットランドたらしめん』の言葉とも重なるんですよ」と古山さん。

これからも、温かく、大らかで、そして壮大な夢をもつ古山さんのフィルターを通して描かれた東北学院を見られるのが楽しみです。

角館にしかない「樺細工」を 世界に広めながら、守っていきます



取材MEMO

伝統とモダンが融合した 新商品をプロデュース

鮮やかな差し色を配したキャニスターは、デザインスタジオ「モノクロ」とのコラボレーションによって誕生した『花霞(ハナガスミ)』シリーズの中の一つ。桜の皮は天然の殺菌効果があることでも知られ、温度や湿度を一定に保つのだとか。お茶だけでなく、コーヒー豆や食品など、携帯用の薬入れとしても機能する、樺細工の魅力が生かされた新顔です。




懐かしい風 新しい出会い

同窓生のお店を訪ねて 20

株式会社八柳
専務取締役

八柳 浩太郎

(やつやなぎ・こうたろう)

平成10年経済学部商学科卒



樺細工(桜皮細工)八柳 下中町店
〒014-0317
下中町店 / 秋田県仙北市角館町下中町2
TEL.0187(53)2653
【営業時間】AM8:30~PM6:30
【定休日】月曜日
【ホームページ】<http://www.yatuyanagi.net>



材料の調達から 販売までを自社で

創業明治9年。樺細工の商品企画から製造、販売までを行う(株)八柳の店舗は、東北の小京都の呼び名にふさわしい仙北市角館の深い木立と重厚な武家屋敷が立ち並ぶ二画にある。最初に建てられた店舗は火災によって焼失してしまっただが、昭和13年に再建。明治の古き良き時代の面影を残す現在の建物は、第一角館町ふるさと景観賞に選ばれている。

「日本の伝統的な木工芸品である樺細工ですが、現在、つくっているのは角館だけなんです。ですから、伝統の技を継承する観点からも、この樺細工を守っていく責任を感じています」と話すのは、6代目となる八柳浩太郎さん。自ら日本全国に出かけて行き、樺細工の湿気を寄せつけず、耐久性もあつて、使い込むほどに手になじんでくるといった特性を精力的にPRしながら営業活動を展開している。

「現在では入手が困難になった山桜の皮を自社で調達しながら、茶筒やお盆といった定番商品をはじめ、スマートフォンケースやキャニスターなどをつくって

います。樺細工の歴史や伝統を次世代に継承するためには、まず、生活の中で使ってもらえるものをつくる必要があると思います。それにはデザイン性の高さも重要であると考えています」と八柳さんは話す。

とにかく楽しかった

大学での4年間

「高校までは、人前に出ていくタイプではなかったのですが、大学で知り合いに誘われ、リーダー会に入りました。新入生たちが新生活をスムーズにスタートできるようにフォローするのが活動の内容でしたが、レクリエーションでゲームをしたり、人前で話をしたりすることで度胸がつかまりましたし、良い経験になりました。とにかく、楽しい4年間でしたね。」

この活動で培った積極性を武器に、全国の百貨店や小売店に営業活動に出向き、ネットショップやカタログギフトにも樺細工の商品を採用してもらおうと働きかける毎日。

「日本全国はもとより、海外にも知ってもらおうと、ネット販売や輸出も行っています。今後は、若い世代の興味を引く商品の開発にも力を入れていきたいですね」と八柳さん。伝統を守り、継承する「新鮮な発想」に期待がかかる。

「おいしかった、また来よう」と
思っていただけの店を目指します

懐かしい風 新しい出会い

同窓生のお店を訪ねて 20

旨味処 二升五合(にしょうごごう)
店主

桜井 義久
(さくらい・よしひさ)

昭和40年東北学院中学校卒 / 昭和43年東北学院高等学校卒
昭和47年工学部機械工学科卒



旨味処 二升五合

〒441-8107

愛知県豊橋市南栄町字東山215-2

TEL. 0532(48)3973

【営業時間】PM5:00~PM11:00

【定休日】日曜日

【ホームページ】<http://www.maroon.dti.ne.jp/y2525>

サラリーマン時代の
蓄積が生かされた味

「二升五合」：升が二つで「ますます」、五合は一升の半分で「はんじょう(半升)」という、益々繁盛の語呂合わせを店名にしたのは、店主である桜井義久さん。豊橋鉄道渥美線南栄駅のほど近くに店を構えて16年目。お客様はご近所の方々も多く、この日も、お孫さんを連れた女性が夕食を楽しんでいた。

「宮城の地酒はもちろん、地焼酎も数多く揃えていますがお酒は酔うためにあるのではなく、料理をよりおいしく食べるためのものだと思っているんです」と話す桜井さんは、餃子、シウマイ、珍しいアユの干物、焼き物に至るまで、丹精込めて腕を振るう。サラリーマン時代に出張で訪れた国内外の各地で、土地の料理や酒を味わうのが楽しみだった。そのときの味の記憶が、料理の味や酒の品揃えに生かされている。

大学卒業後、桜井さんは矢崎総業に入社。東京や大阪、名古屋などの転勤を経験しながら、50歳のときに早期退職を決断した。

「体力、気力の減退を感じていたころでした。サラリーマンを続けるのも、辞めるのも厳しい。同じ厳しいのなら、自分の好きなことをやろうと思ったんです。この店を開こうと決断したのは、

定年退職後に飲食関係の仕事をしようと思っていたこともありましたが、家内の理解を得られたことが大きかったですね」。

妻の則子さんは、接客と洗い場を担当。お客様には好みのおちよこを選んでもらうのだが、さまざまなおちよこが入ったカゴを則子さんが差し出すことで、お客様との会話が自然にはじまる。そんなちよことした心遣いが、さらに料理と酒の味をおいしくしているようだ。

笑顔の秘訣は
夢をもち続けること

「中学から大学まで東北学院に学び、世のため人のために役立ちたいという精神を培うことができたのは、私の大きな財産です。時折、同級生が店を訪ねてくれることもあるんですよ。うれしいことですね。これからも『おいしかった、また来よう』と思っていただける店づくりを心がけていきたいと思っています」。

桜井さんには、もう一つの夢がある。それはニューヨーク暮らし。いつか実現しようとして、現在、英語を勉強中。夢をもつて日々を送る素晴らしさは、桜井さんのハツラツとした表情に象徴されている。

平成28年度東北学院同窓会代議員会次第

日時：平成28年5月13日(金)13:15～

場所：仙台国際ホテル2階「平成の間」

議事については以下の通り

議 事

- (1) 学校法人東北学院評議員の推挙について(了承)
- (2) 東北学院同窓会支部の入会について(了承)
- (3) 東北学院同窓会奨学育英事業規程改正について(了承)
- (4) 平成27年度東北学院同窓会庶務報告について(了承)
- (5) 平成27年度東北学院同窓会支部・TG会等開催について(了承)
- (6) 平成27年度東北学院同窓会支部等活動費補助利用状況について(了承)

- (7) 平成27年度東北学院同窓会収支決算書について(承認)
- (8) 平成27年度東北学院同窓会財産目録(承認)
- (9) 平成27年度監事監査報告書(承認)
- (10) 平成28年度東北学院同窓会事業計画(案)について(承認)
- (11) 平成28年度東北学院同窓会収支予算(案)について(承認)
- (12) 東北学院同窓会役員(副会長)の選任について(承認)
- (13) 東北学院同窓会役員(常任委員・代議員)について(承認)

平成28年度 東北学院同窓会収支予算

自 平成28年4月1日
至 平成29年3月31日

収入の部				支出の部			
科 目	28年度予算額	27年度予算額	増減(28年度-27年度)	科 目	28年度予算額	27年度予算額	増減(28年度-27年度)
前年度繰越金	21,256,728	23,148,406	△1,891,678	総 会 費	120,000	100,000	20,000
入 会 金	10,029,000	9,978,000	51,000	集 会 費	4,500,000	4,500,000	0
大 学 院	24,000	24,000	0	旅 費 交 通 費	7,500,000	7,000,000	500,000
文 学 部	1,365,000	1,371,000	△6,000	活 動 補 助 費	2,000,000	2,000,000	0
経 済 学 部	1,965,000	1,980,000	△15,000	印 刷 費	5,737,000	7,000,000	△1,263,000
経 営 学 部	951,000	954,000	△3,000	通 信 費	1,200,000	1,000,000	200,000
法 学 部	1,032,000	1,038,000	△6,000	広 報 費	3,200,000	5,000,000	△1,800,000
教 養 学 部	1,206,000	1,215,000	△9,000	時 報 購 読 料	3,500,000	0	3,500,000
工 学 部	1,401,000	1,422,000	△21,000	ク リ ス マ ス 費	350,000	500,000	△150,000
高 校	627,000	660,000	△33,000	TG十五日会費	3,300,000	4,000,000	△700,000
榴ヶ岡高校	966,000	873,000	93,000	人 件 費	1,800,000	2,000,000	△200,000
中 学 校	492,000	441,000	51,000	業 務 委 託 費	6,200,000	6,500,000	△300,000
会 費	39,484,800	39,771,800	△287,000	福 利 厚 生 費	1,000,000	1,500,000	△500,000
大 学 院	306,000	273,000	33,000	会 議 費	800,000	1,500,000	△700,000
法 務 研 究 科	0	9,000	△9,000	備 品 費	200,000	400,000	△200,000
文 学 部	5,685,000	5,682,000	3,000	事 務 費	200,000	300,000	△100,000
経 済 学 部	8,247,000	8,361,000	△114,000	雑 費	1,900,000	2,500,000	△600,000
経 営 学 部	4,290,000	4,326,000	△36,000	オ リ ジ ナ ル 品 制 作 費	3,100,000	3,500,000	△400,000
法 学 部	4,575,000	4,656,000	△81,000	TG会館建設資金並びに運営資金	5,000,000	0	5,000,000
教 養 学 部	5,610,000	5,736,000	△126,000	ホ ー ム カ ミ ン グ デ ー	0	6,000,000	△6,000,000
工 学 部	6,216,000	6,240,000	△24,000	TG交流ゴルフ大会	600,000	700,000	△100,000
高 校	2,041,200	2,039,000	2,200	サ テ ラ イ ト ス テ ー シ ョ ン	7,540,000	4,700,000	2,840,000
榴ヶ岡高校	1,661,400	1,598,400	63,000	東日本震災教育支援経費	1,750,000	2,000,000	△250,000
中 学 校	853,200	851,400	1,800	同窓会奨学事業費	2,500,000	2,500,000	0
時 報 購 読 料	3,500,000	3,000,000	500,000	同窓会奨学事業費	3,000,000	3,000,000	0
事 業 収 入	450,000	2,300,000	△1,850,000	同窓会記念事業費	2,000,000	0	2,000,000
TG十五日会	1,500,000	1,500,000	0	予 備 費	7,423,528	12,308,206	△4,884,678
寄 付 金	50,000	360,000	△310,000	合 計	76,420,528	80,508,206	△4,087,678
TG会館建設資金並びに運営資金	0	0	0				
雑 収 入	150,000	450,000	△300,000				
合 計	76,420,528	80,508,206	△4,087,678				

科目間及び予備費の流用については、三役会議の了承を得て執行いたします。

TG会館建設資金並びに運営資金	前期末残高	当期繰入金額	当期末残高	備 考
	165,000,000	5,000,000	170,000,000	七十七銀行、仙台銀行

平成27年度 東北学院同窓会収支決算書

自 平成27年4月1日
至 平成28年3月31日

収入の部				支出の部			
科 目	予 算 額	決 算 額	増減(予算額-決算額)	科 目	予 算 額	決 算 額	増減(予算額-決算額)
前年度繰越金	23,148,406	23,148,406	0	総 会 費	100,000	114,048	△14,048
入 会 金	9,978,000	9,930,000	48,000	集 会 費	4,500,000	4,532,000	△32,000
大 学 院	24,000	24,000	0	旅 費 交 通 費	7,000,000	6,931,420	68,580
文 学 部	1,371,000	1,365,000	6,000	活 動 補 助 費	2,000,000	1,969,598	30,402
経 済 学 部	1,980,000	1,965,000	15,000	印 刷 費	7,000,000	5,548,883	1,451,117
経 営 学 部	954,000	951,000	3,000	通 信 費	1,000,000	1,152,928	△152,928
法 学 部	1,038,000	1,032,000	6,000	広 報 費	5,000,000	4,623,000	377,000
教 養 学 部	1,215,000	1,206,000	9,000	ク リ ス マ ス 費	500,000	293,382	206,618
工 学 部	1,422,000	1,401,000	21,000	TG十五日会費	4,000,000	3,307,260	692,740
高 校	660,000	669,000	△9,000	人 件 費	2,000,000	1,800,000	200,000
榴ヶ岡高校	873,000	876,000	△3,000	業 務 委 託 費	6,500,000	5,971,968	528,032
中 学 校	441,000	441,000	0	福 利 厚 生 費	1,500,000	560,000	940,000
会 費	39,771,800	38,875,050	896,750	会 議 費	1,500,000	297,578	1,202,422
大 学 院	273,000	279,000	△6,000	備 品 費	400,000	0	400,000
法 務 研 究 科	9,000	9,000	0	事 務 費	300,000	120,660	179,340
文 学 部	5,682,000	5,502,000	180,000	雑 費	2,500,000	2,137,840	362,160
経 済 学 部	8,361,000	8,145,000	216,000	オ リ ジ ナ ル グ ル ー プ 制 作 費	3,500,000	3,617,045	△117,045
経 営 学 部	4,326,000	4,242,000	84,000	TG会館建設資金並びに運営資金	0	0	0
法 学 部	4,656,000	4,581,000	75,000	TG交流ゴルフ大会	700,000	672,241	27,759
教 養 学 部	5,736,000	5,583,000	153,000	ホ ー ム カ ミ ン グ デ ー	6,000,000	4,784,335	1,215,665
工 学 部	6,240,000	6,051,000	189,000	サ テ ラ イ ト ス テ ー シ ョ ン	4,700,000	4,661,913	38,087
高 校	2,039,000	2,032,800	6,200	高 校	2,000,000	1,704,343	295,657
榴ヶ岡高校	1,598,400	1,598,100	300	同窓会奨学事業費	2,500,000	2,500,000	0
中 学 校	851,400	852,150	△750	同窓会奨学事業費	3,000,000	1,450,000	1,550,000
時 報 購 読 料	3,000,000	4,623,000	△1,623,000	予 備 費	12,308,206	0	12,308,206
事 業 収 入	2,300,000	1,829,000	471,000	小 計	80,508,206	58,750,442	21,757,764
TG十五日会	1,500,000	1,404,000	96,000	次 年 度 繰 越 金	0	21,256,728	△21,256,728
寄 付 金	360,000	10,000	350,000	合 計	80,508,206	80,007,170	501,036
TG会館建設資金並びに運営資金	0	0	0				
雑 収 入	450,000	187,714	262,286				
合 計	80,508,206	80,007,170	501,036				

東北学院大学
土樋キャンパス

 大学院：文学研究科・経済学研究科・経営学研究科
 法学研究科

 学 部：文学部・経済学部・経営学部
 法学部（各3・4年）

 〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
 TEL. 022-264-6421 FAX. 022-264-3030

多賀城キャンパス

 大学院：工学研究科
 学 部：工学部

 〒985-8537 多賀城市中央一丁目13番1号
 TEL. 022-368-1116 FAX. 022-368-7070

泉キャンパス

大学院：人間情報学研究科

 学 部：文学部・経済学部・経営学部
 法学部（各1・2年）・教養学部

 〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号
 TEL. 022-375-1121 FAX. 022-375-4040

東北学院中学校・高等学校

 〒983-8565 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1
 TEL. 022-786-1231 FAX. 022-786-1460

東北学院榴ヶ岡高等学校

 〒981-3105 仙台市泉区天神沢二丁目2番1号
 TEL. 022-372-6611 FAX. 022-375-6966

東北学院幼稚園

 〒985-0862 多賀城市高崎三丁目7番7号
 TEL. 022-368-8600 FAX. 022-309-2655

3L通信編集委員会

委員 長	同窓会副会長・法人事務局長	斎藤 英夫
副委員長	同窓会副会長	峯岸 良造
委 員	東北学院庶務部長	齋藤 信二
	東北学院大学学長室長・経済学部教授	阿部 重樹
	同窓会若林支部幹事長（代議員）	亀岡 幸康
	同窓会宮城野支部（代議員）	菊地 茂
	法学部同窓会副会長	舘崎 智信
	仙台同窓会事務局長（代議員）	高橋 公晴
	同窓会太白支部（代議員）	馬場 弘幸
	TGスポーツOB連合会副会長	内海 睦夫
	ユアテックTG会事務局長（代議員）	増田 敏
	東北学院広報部長兼広報課長	大沼健一郎
	東北学院庶務部校友課長	安部 茂徳
	東北学院庶務部校友課長補佐	
	東北学院庶務部校友課	

発行日／2016(平成28)年9月1日

発行所／東北学院同窓会（事務局：庶務部校友課）

発行人／後藤 久幸（東北学院同窓会長）

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号

TEL.022-264-6468 FAX.022-214-0404

URL：http://www.tg-alumni.jp

E-mail：dousou@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

印刷／株式会社ユーメディア

校友課より
「個人情報保護法」への取り組みについて

平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、東北学院では園児・生徒・学生をはじめ卒業生等の個人情報の取り扱いについて「学校法人東北学院個人情報保護規程」を定め、個人情報の適正な管理と保護に務めています。

校友課では、東北学院同窓会の運営に必要な皆様の個人情報をお預かりしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱って参りますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。詳細については、東北学院ホームページに掲載していますのでご覧ください。

なお、東北学院同窓会で使用する個人情報の利用目的は、次の通りです。

- ◇「東北学院時報」並びに「3L通信—Lux Mundi」の送付
- ◇「東北学院時報」購読料徴収に関わる事務
- ◇各支部・TG会などが主催する総会及び行事の案内
- ◇その他、上記に関連する業務

住所等変更届のお願い

同窓生の皆様には、お名前・ご住所・電話番号に変更が生じましたら、お手数でも校友課までご連絡下さいますようお願いいたします。お預かりする皆様方の個人情報は慎重に取り扱い、同窓会に関する利用目的以外には使用いたしません。特に「東北学院時報」と「3L通信—Lux Mundi」は、皆様と母校を結ぶ通信手段として欠かせないものですので、ぜひご協力をお願いいたします。なお、住所変更届は東北学院同窓会公式ホームページからも行うことができます。

お名前の「旧字体」や「特殊文字」の扱いについて

同窓生情報のシステムの変更に伴い、お名前に旧字体や特殊文字をお使いの方は、会報の送付の際などに、常用の字体（JIS第二水準）に置き換えて表記させていただきます。皆様方には、ご理解とご協力をお願い申し上げます。